

中国におけるゼロコロナ政策の影響について ～上海でのロックダウンの状況を中心に～

上海事務所長 末永 尚也

1. 上海市内の感染状況およびロックダウンについて

上海市内では3月初めから新型コロナウイルス感染症の新規感染者（以下「新規感染者」という。）がゆるやかに増加（表1）。3月中旬から小区（日本でいう町内会）単位での部分封鎖が開始された。3月下旬にかけて新規感染者は1,000人を超え、増加に歯止めがかからなかったことから、上海市政府は市内を東西二地域に分け、3月28日から東側（浦東地域等）を、4月1日からは当事務所が所在する市内西側（浦西地域）のロックダウン（都市封鎖）を開始した。新規感染者は、4月上旬に1日あたり2万人を超え、当初4日間の期間で予定されていたロックダウンは長期化した。防疫体制を緩めると医療体制が深刻な状況に陥る恐れがあるとして、この間も政府は「ダイナミック・ゼロコロナ¹」の政策を堅持。上海市内の多くの地域で約2か月間封鎖が継続され、当事務所も在宅勤務を余儀なくされた。5月中旬に新規感染者はロックダウン開始前の3月23日以来となる3ケタ台まで減少し、上海市政府は同月17日に、全ての行政区で「社会面ゼロコロナ²」を達成したと発表。6月1日からは感染リスクが高い一部の地域を除きようやく封鎖が解除された。



(表1) 上海市感染者数等推移 (出典) 上海市政府資料を基に上海事務所作成

2. 中国経済及び県内企業への影響について

(1) 中国経済への影響

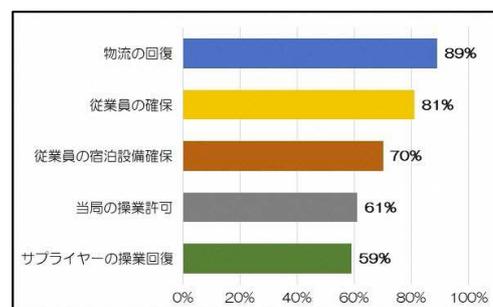
上海のロックダウンや各地の厳しい防疫対策により、経済の下押し圧力が強まり、中国国内の消費や経済活動へも大きな影響が広がった。中国自動車工業会協会によると2022年4月の新車販売台数は前年同月比47.6%減を記録。非製造業PMI（購買担当者景気指数）は41.9と、好不況の目安とされる50を大きく割り込み、特に航

¹ 国内の「感染者の発生をゼロにする」ものではなく、感染者の能動的かつ迅速な発見を行い、感染者に対して速やかに疫学的調査、診断、隔離、治療を行い、コミュニティー（社区）で持続的に感染が広がることを防ぐという防疫戦略。

² 集中隔離施設や封鎖されたマンション等隔離管理エリア以外での新規感染者（無症状含む）が3日連続でゼロの状態を指す。

空輸送、宿泊、飲食など対人サービス業で著しく悪化した。

上海日本商工クラブの調査³によると、上海の製造業を中心とした日系企業 125 社のうち、調査時点で 8 割の企業が工場の操業を停止しており、操業許可を取得している企業は 4 割に満たなかった。未稼働（63%）、3 割以下の稼働率（28%）を合わせ約 9 割が、ロックダウン開始後 1 カ月間ほとんど稼働できていない状況となった。同調査において、操業再開に向けた課題として 89%の企業が挙げたのが、「物流の回復」である（表 1）。上海市に関連する国内物流は 8 割の企業が、国際物流は 7 割が「全く手配できない」又は「必要量の 3 割以下しか手配できていない」と回答しており、最大のネックとなっていることが伺える。4 月の日本国内の自動車生産台数の大幅減（前年同月比 19%減）についても、世界的な半導体不足のほか、上海でのロックダウンによる部品供給が滞ったことが原因とされており世界的なサプライチェーンへの影響も広がっている。



（表 1）操業再開に向けた課題
（出典）上海日本商工クラブ調査

（2）県内企業への影響

当事務所が 5 月中旬に上海市内及び近郊の県内企業へ聞き取りを行ったところ、物流業（本社：福岡市）からは「ホワイトリスト⁴企業や重要分野企業の操業再開が優先され、当社のような小規模企業は、再開の申請すらできない状況。通関作業が滞り、貨物の保管費用等のコストが増大」といった声や、製造・卸売業（本社：福岡市）からは「5 月上旬から操業再開したものの、製品の大部分は海外向けで他社（他国）へ仕事が流れ影響は甚大。原材料の調達先も上海市内が多く、代替先を探す必要がある」といった声が聞かれた。両社とも、物流の停滞等により調達や出荷等が困難な状況であり、物流機能の回復は特に望まれる。当事務所としても在上海日本国総領事館や上海市政府等からの情報をもとに県内企業からの問合せに対応している。

3. 今後について

上海市政府はロックダウン下で企業活動を再開する際に必要としていた「企業再開審査制度」を 6 月 1 日より廃止し、産業園區、オフィスビルなどは全面操業再開を加速させ、大企業のみならず中小零細企業まで、企業従業員の通勤を回復させることとしている。当事務所も約 2 か月ぶりにオフィスでの業務を再開したが、地下鉄やオフィス周辺ではロックダウン前と比べると人通りは少ない。また、市政府からの指示によりスーパーへの入店や公共施設への入場には 72 時間以内の PCR 検査の陰性証明が必要となるなど市民生活への制限は続いている。日々状況が変化しているが、上海での事業活動に関して気になることがあれば、お気軽にお問合せいただきたい。

³ 上海日本商工クラブ「上海市封鎖管理による事業への影響等に関する実態把握（第 2 回）」2022 年 4 月

⁴ 上海市当局は工場の生産継続や再開を支援する企業リスト（ホワイトリスト）を発表。これまでに自動車や半導体、機械・電子、電子商取引、バイオ製薬など大手企業 1,854 社が掲載された。これらにリソースを集中して、該当企業の生産再開を優先的に進めている。